



## OEKO-TEX® STANDARD 100:2026 新規制について

OEKO-TEX® (エコテックス®) 国際共同体は例年同様、2026 年より各認証及びラベルに適用する試験基準、規制値、要求事項を更新しました。規制値の変更点につきましては、各認証に対応した規制値表にてご確認ください。

OEKO-TEX® STANDARD 100 (エコテックス®スタンダード 100) に関する以下の新規制は、3 か月の移行期間を経て、2026 年 6 月 1 日から適用されます。

### 川上工程の認証書(ベース認証書)受け入れ条件の変更

OEKO-TEX® STANDARD 100 認証におけるトレーサビリティを強化するため、二次サプライヤー(ティア 2)が提出した川上工程の認証書は、新規認証の場合にのみ受け入れられます。認証更新においては、直接のサプライヤー(ティア 1)の認証書であることが受け入れ条件となります。2026 年から 2027 年 6 月までの移行期間中は、認証更新においても二次サプライヤー(ティア 2)の認証書が引き続き受け入れられます。この期間により、サプライチェーンおよび関連書類の整備に十分な猶予が確保されます。

この変更により：

- 【初回認証の場合】  
二次サプライヤーの認証書も受け入れられます(従来通り)。
- 【認証更新の場合】直接サプライヤーの認証書のみが受け入れられ、二次サプライヤーの認証書は使用できません。ベース認証書は直接サプライヤーから発行されたものでなければなりません。

### 湿式工程に関する認証要件の変更

OEKO-TEX® STANDARD 100 における品質保証をさらに強化するため、未認証の湿式工程(例：染色、洗浄、プリント、仕上げ加工)は、初回認証の場合に限り認められます。一方、認証更新においては、サプライチェーン内のすべての湿式工程が認証を取得していることが必須となります。すべての証明書には移行期間が設けられており、2027 年 6 月までは未認証の湿式工程も引き続き認められます。この移行期間により、企業が工程および認証状況を整備するための十分な時間が確保されます。

この変更により：

- 【初回認証の場合】  
未認証の湿式工程は認められます。つまり、企業が初めて認証を申請する場合、未認証の湿式工程(例：染色、洗浄、プリント、仕上げ加工)を行っているサプライヤーや外注先を使用することが可能であり、初回認証の段階ではこれらの工程も受け入れられます。



- 【認証更新の場合】

すべての湿式工程が認証取得する必要があります。 認証更新時には要件がより厳格となり、サプライチェーン全体におけるすべての湿式工程 2026.03.03 が認証を取得していなければなりません。未認証の湿式工程は、認証更新においては一切認められません。

## 規格書とは別提供となる規制物質リスト（RSL）

2026 年より、規制物質リスト（RSL）は規格書本体には含まれなくなります。 今後は、視認性の向上、比較のしやすさ、ならびに要件のより明確な理解を目的として、別途データ（Excel 形式）として提供されます。

## リスクパラメータとなる試験項目での検出結果について

### 定義：

リスクパラメータとは、EU において法的に規制されている物質、または OEKO-TEX® STANDARD 100 認証において特に重要な意味を持つことを基準として選定された物質の試験項目です。

### 現行プロセス：

認証プロセスにおいてリスクパラメータが検出された場合、顧客は OEKO-TEX®基準に適合する改良サンプルを提出する必要があります。あわせて、どのような変更を行ったのか、またその変更によってどのようにサンプルが改善されたのかを説明する改善報告書の提出も求められます。

### 変更点：

2026 年 6 月以降は、リスクパラメータが試験で検出された場合、証明書の有効期間内に、試験機関による 2 回目の試験シリーズが実施されることとなります。

OEKO-TEX®新規の詳細については、OEKO-TEX®(info@oekotex.com)または最寄りの OEKO-TEX®認証機関(<https://www.oeko-tex.com/offices>)にお問い合わせください。



STANDARD  
100

3 か月の移行期間を経て、2026 年 6 月 1 日から、  
OEKO-TEX® STANDARD 100 の新試験基準と規制値が  
すべての認証に対して拘束力を持ちます。